

(時間経過) 発災 (午後6時) 1時間後 (午後7時) 3~4時間後 (午後9~10時)

県災対本部	職員の非常参集開始 災害対策本部設置・推定被害情報収集 ヘリコプターによる情報収集開始 医療救護本部設置	県内の応援要請(消防庁、警察、自衛隊) 物資確保準備 物資供給拠点の開設準備 交通輸送手段の確保準備	応援部隊の配分を検討 関係機関へ応援要請 救護班派遣・後方搬送の準備 津波警 ヘリ消火の検討
市町村災対本部	職員の非常参集開始 災害対策本部設置 応援準備	消防の広域応援要請(県下協定応援、消防庁) 県へ応援要請(1次) 応援 関係機関へ応援要請(1次要請) 協定都市等へ応援要請(1次要請) 協定業者協会等へ応援要請 自衛隊の派遣要請	物資確保に関して要請(県、関係機関)
火災	消防消防団	監視カメラ、高所見張りにより感知 職員非常参集 コンビナート地区の安全確認	1次運用で消火にあたる 消火できない現場へ2次運用 一部非常参集職員が救出活動にまわる 延焼対応の作戦に移行 応援部隊を含めた作戦に移行 応援部隊の調整・誘導
	住民等避難	住民、自主防等による消火活動が行われる	一部住民の避難が始まる 延焼地区の避難がピークに達する
救出	消防消防団	津波発生 生き埋め現場から救出要請 被害状況収集	警戒及び避難者探索開始 救助隊による活動が始まる 消防職員の一部が近隣住民とともに救出活動 照明、重機の確保が行われるが、不足する 民間の自主的協力 土木・建築業者へ協力依頼
	住民等の対応	家族・隣人による救出活動が始まる	自主防、住民、事業所による組織的活動が始まる 自主防、住民、事業所による組織的活動が本格化 暗闇により活動難航 土木・建築業者が重機を提供
医療救護	現場・医療機関での対応	負傷者の病院等への殺到が始まる 医療関係者の参集	一部病院へ患者が集中 負傷者への簡単な応急処置のみ実施 病院・診療所での対応開始 独自に搬送先を探す 搬送手段の確保難航 火災延焼 重症熱傷患者が出始める 搬送先探索難航
	市町村における搬送等の対応	119番・駆付けで救急要請が来始める	医療機関の情報収集開始 救急車はほとんど出動できず 救護所開設が必要が情報収集 広域医療救護、広域搬送要請 他病院への患者の家族等による移送指示 搬送先及び搬送手段の確保難航 救護所への医療関係者の参集 救護所の一部開設 応援医療の2次要請 周辺病院も混雑のため搬送先を探すのが困難 病院までのバトン輸送
被災者救援	避難所	避難所の開設準備(管理者による安全確認)	避難所の開設 避難者名簿等の準備が行われる 災害対策本部との連絡確保 避難所の運営体制ができて始める
	物資調達		避難所内の備蓄物資配布開始 一部給水開始 協定先等への物資調達を開始するが連絡が取れない
滞留者対応	施設管理者等が安全確保	状況等について順次情報提供が行われる 一部の滞留者は住民とともに避難	帰宅経路等について情報提供が行われる
道路		道路被災箇所の通行規制 道路点検パトロール開始	緊急交通路の指定 優先的規制・啓開 緊急交通路規制 迂回路設定
県内応援市町村	応援出動準備 自市区町村内を警戒調査開始	消防広域応援要請を受ける おおよその状況を確認 広域医療応援要請を受ける	応援出動準備 消防広域応援要請を受ける 被災地からの重症者の受け入れ準備開始 応援部隊出動 第一陣到着 負傷者受け入れ開始
県外応援	都県内被害調査の開始	被害が軽微な県はおおよその状況を確認 応援出動準備	県から応援要請を受ける 消防より広域応援の要請 搬送広域応援要請を受ける 被災市町村の状況や道路被害情報の収集 緊急消防援助隊の準備・出発 後方支援準備 応援救急隊の出動
県警本部	警備本部設置 初動体制確立指示 推定被害情報収集	被害情報収集開始 道路被害確認開始 ヘリテレビ送信開始	被害箇所が多数発生していることを把握 県機動態の出動 警察庁へ応援要請 道路被害概要判明 緊急交通路指定
自衛隊	被害調査活動開始	出動準備 ヘリ、航空機が出動	出動要請を受ける 第一陣出発 広域の派遣準備開始

発災 (午後6時) 1時間後 (午後7時) 3~4時間後 (午後9~10時)

6~7時間後 (午後12~午前1時) 12時間後 (翌日午前6時) 24時間後 (翌日午後6時) 48時間後 72時間後 1週間後



6~7時間後 (午後12~午前1時) 12時間後 (翌日午前6時) 24時間後 (翌日午後6時) 48時間後 72時間後 1週間後